

I 目的と背景（第1章）

少子高齢化の進行や人口減少社会の本格的到来、防災や環境への意識の高まり、さらに地域創生など、県立都市公園を取り巻く社会状況が大きく変化したことを受け、県下の花と緑の取組みの方向性を示す「ひょうご花緑創造プラン」の改定に合わせ、県立都市公園が、県民共有の資産としてより一層の効果を発現するよう「兵庫県立都市公園の整備・管理運営基本計画」を策定する。

II 現状と課題（第2章）

◆現 状

(1) 県立都市公園の整備

- ・県立都市公園：15ヶ所、開園面積約 1,130ha (H27.12時点)
- ・一人当たり都市公園面積：12.4㎡/人 (H26.3時点) → 全国平均を上回る
- ・市街地の緑地面積割合：30.6% (H25.8時点) → 目標3割を達成 など

(2) 都市公園の運営管理

- ・効果的・効率的な管理への取組：指定管理者制度を導入 (H18～) → (現在)15公園全てで実施
- ・県民の参画と協働の取組：管理運営協議会などを設置、各活動団体によるプログラム実施 など

(3) 特徴的な取組 県立淡路景観園芸学校、淡路花博及び花みどりフェアの開催 など

(4) 県立都市公園の整備費などの推移 平成7年以降、整備費・維持管理費とも減少傾向

◆課 題 今後の都市公園における取組みに関する主な課題(5点)

既存ストックの利活用など、時代変化を踏まえ「量」から「質」への転換

今後の方向性を踏まえた新たな目標設定

厳しい財政状況への対応(選択と集中)

これまでの整備で増大した施設の老朽化への対応

施設の老朽化、ストックの利活用などに対応する公園の整備・管理運営の専門的人材の育成や体制の確保

III 基本方針（第3章）

◆計画期間

- ・展望年次：2040年 (H52)
- ・計画期間：2025年 (H37) 概ね5年で見直し

◆基本的な取組姿勢「ふるさと兵庫」のゆたかな暮らしを支える「公園づくり」に取組む

◆取組みにおける留意点

- ・社会変化を踏まえた「量」から「質」への転換の推進
- ・県民の参画と協働など多様な連携の工夫、公園のもつ多様性を生かす

◆テーマと施策方針これからの県立都市公園で取組む「5つのテーマと18の施策方針」

IV 推進施策（第4章）

